

病魔

立てない 座れない
病魔がやってきて ベッドに貼り付けられた
目が覚めても 目が開かない
食べたいのに 口が開かない

ここは 何という空間なのか
誰がいるのかも分からない
人間が人間であるために 選択肢さえない空間

どれだけの時間が経っただろう
管がたくさんついている
鏡の向こうには自分とは違う生き物が見えた

もう昔のはなし
今は 生きて立っている
洋服を選び 何処へ行こうか 考えている
感じていなかった空間が 生きる幸せと気づいた

病魔は 幸せへの水先案内人だったのであろうか